

高野中で育てたい力

対話力

主体性・積極性

自信

問題解決をするための基礎的な各分野での知識

庄原市立高野中学校 第3学年 英語科学習指導案

単元名 : Program6 “Let’s Talk about Japanese Things.”

- 1 日時 令和元年 10 月 11 日 (金) 2 校時 (9:50~10:40)
- 2 学年 第3学年 (男子6名 女子4名 合計10名)
- 3 場所 3学年教室
- 4 単元について

(1) 単元観

中学校学習指導要領解説外国語編 第2章外国語科の目標及び内容 第2節英語 1目標(5)書くこと(ア)には「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。」とある。

本単元では、日本文化を英語で表現する方法について学び、日本文化の発信に生徒の興味・関心が向けられることをねらいとしている。そこで、現在分詞や過去分詞の後置修飾を使い、くわしく説明するための英語表現を学び、それらを英語で表現する能力と自分の考えを相手に積極的に伝えようとする態度を育成することができるようにする。

(2) 生徒観

～省 略～

(3) 指導観

指導にあたっては、身近な存在である ALT から海外の文化を紹介してもらい、日本と異なる文化について生徒に興味・関心をもたせる。そして、日本文化をある程度知っている ALT に日本文化をもっと詳しく紹介するための英文を考えさせる。その際、ユニバーサルデザイン (UD) 授業の3本柱である視覚化、焦点化、共有化の手立てを意識して指導していく。誤りのある英文を模造紙で全員に提示するという視覚化により課題をわかりやすく「見える化」する。また、読み手に正しく伝わるわかりやすい紹介文にするためには、英文の順番や代名詞の使い方、正しい文構造やつづりが大切であることを気付かせる。また、その大切なポイントをチェックリストとして作成し、そのチェックリストを基に各自で書いた英文が正確に書けているか焦点化して確認させる。その後、班員相互に読み合ったり、ALT に聞いてもらったりして共有化することを通して、改善点に気づき、より読み手が理解しやすい英文を書かせるようにしていく。その際、学習活動を明確に絞り込み焦点化し、展開の構造をシンプルにすることによって、「分かりやすい」授業にする。また、発表が苦手な生徒に対しては、ペアやグループで共有化する中で、自信をもたせて学習意欲を高める。

本単元学習後，日常的な話題や社会的な話題について書く際に，読み手を意識した正しい英文が書けるように指導していきたい。

5 大会主題との関連

～省 略～

6 単元の目標

- (1) 既習事項及び現在分詞・過去分詞の表現を使って，祝日や文化についてのクイズを出すことができる。
- (2) 海外や日本文化について考え，自分の考えを相手に伝えることができる。
- (3) 日本文化について考えたことをまとまりのある英文で書き，ALT に伝えることができる。

7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取組) ①読み手が理解しやすくなるように書いたり，書き直したりしている。 (コミュニケーションの継続)	(正確な筆記) ①日本文化について読み手に正確に伝えることができる。 (適切な筆記) ②自分の意見を読み手に適切に伝えることができる。	/	(言語についての知識) ①現在分詞・過去分詞を使った文の構造を理解している。 ②紹介の仕方を理解している。 (文化についての理解) ③海外・日本の文化について理解している。

8 指導と評価の計画 (全 11 時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関	表	知	評価規準	評価方法
1	○ALT からアメリカの文化について紹介してもらい，単元を貫く課題を理解する。(1 時間) {ALT や友達に体験してみたい!}と思ってもらえるように日本文化を紹介できる。			○	エ③海外の文化について理解している。	発表
2	○日本文化について情報を収集し，自分が紹介したい日本文化について書く。(1 時間)	○			ア①読み手が理解しやすくなるように書いている。	ワークシート
3	○本単元で身に付ける文 (現在分詞) の文構造を理解する。(1 時間)			○	エ①現在分詞の文の構造を理解している。	ワークシート

4	○教科書本文 (p.55) を読み、日本の美術作品の「鳥獣戯画」についての内容を理解する。(1時間)		○	イ②自分の意見を友達に伝えることができる。	発表
5	○本単元で身に付ける文(過去分詞)の文構造を理解する。(1時間)		○	エ①過去分詞を使った文の構造を理解している。	ワークシート
6	○教科書本文 (p.57) を読み、けん玉とヨーヨーについての内容を理解する。 ○教科書本文(p.57)を参考に日本文化や祝日について一言で友達に伝える。(1時間)		○	エ③海外・日本の文化について理解している。 イ②自分の意見を友達に伝えることができる。	ワークシート 発表
7	○教科書本文(p.58,59)を参考に日本の文化について友達と会話をする。(1時間)		○	イ②自分の意見を友達に伝えることができる。	発表
8	○日本文化について調べた情報をもとに、辞書を使ったり、教科書の表現を参考にしたりしながら、英文を書く。(1時間)	○		ア①読み手が理解しやすくなるように書いている。	ワークシート
9	○紹介の仕方を学ぶ。 ○前時で書いた英文について、グループ内で読み合い、意見を付箋に書き、友達からの意見を参考に英文を加筆修正する。(1時間)【本時】	○	○	エ②紹介の仕方を理解している。 ア①読み手が理解しやすくなるように書き直している。	ワークシート
10	○日本文化をALTに紹介して、意見をもらう。(1時間)		○	イ①日本文化について読み手に正確に伝えることができる。	ワークシート
後日	<ペーパーテスト> ○現在分詞・過去分詞の文の構造についての理解を見る問題。(1時間)		○	エ①現在分詞・過去分詞を使った文の構造を理解している。	ペーパーテスト

9 本時の学習

(1) 本時の目標

誤りのある英文を改善する学習を通して、より正確な英文にするためのポイントを理解し、友達の英文を推敲することによって、自分の英文をよりよいものにすることができる。

ねらい (本時の目標)	ねらいの評価方法 「何が」「どのように」できたらよいのか
友達の英文を見て良さや改善点に気づき、自分の英文をよりよいものにします。	紹介の仕方を学び、最初に作成した英文が読み手にとって理解しやすい英文に書き直すことができる。
めあて (生徒の活動, 目標) —板書提示— 「山場」「ねらい」	山場 (足場)
どうすれば正確でわかりやすい英文にすることができるだろう。(山場) 読み手にとって理解しやすい英文にしよう。(ねらい)	正確でわかりやすい英文にするためのポイントがわかった!

(2) 授業UD化に向けた手立て (支援)

全体への手立て (◇)	支援を要する生徒への手立て (◆)	目標達成者への手立て (○)
・語順やスペルが大事であることを考えさせるために、板書にポイントを示す。(視)	・どこに着目するかを視覚的に示して考えさせる。(視)	・順序、語順、内容を考えさせる。(焦)

<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを活用して正確でわかりやすい英文を考えさせる。(焦) ・気づきを深めるために、班活動を通して、考えを交流し合う。(共) 		<ul style="list-style-type: none"> ・困っている生徒への支援や助言をさせる。(共)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	---------------------------------------------------------------------------

(3) 準備物

ワークシート, 本時の流れを示すホワイトボード, 付箋, マグネット, 模造紙, フラッシュカード

(4) 学習展開

	学習活動	UD化に向けた手立て ◇全体への手立て ◆支援を要する生徒への手立て ○目標達成者への手立て	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1. 前時までの内容を復習する。</p> <p>○ALT からアメリカ文化のクイズを聞き取る。</p> <p>○過去分詞についてペアでクイズをしあう。 (p. 59)</p> <p>S 1 : It' s a Japanese drum usually played during the Bon dance. What' s this?</p> <p>S 2 : Wadaiko.</p> <p>2. 自己紹介を見て, 人に伝えるのにわかりやすいかどうかを考える。</p> <p>T : Hi! I like French fries. I am Emi Okamura. Thank you. I live in Shobara. It' s delicious. Who thinks it' s OK?</p> <p>S : No.</p> <p>T : What' s wrong?</p> <p>S : 順番</p> <p>T : How can you change?</p> <p>S : 名前をあいさつの後に。ありがとうは最後に。好きな食べ物の後ろにおいしいを。</p> <p>3. 本時の問題を把握し, めあてを確認する。</p>		<p>問題解決をするための基礎的な各分野での知識: 既習の文構造をおさえさせる</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日本文化についてより<u>正確でわかりやすい英語</u>で書くことができる。 (順序, 語順, スペル, 代名詞の使い方, 内容 (難しさ))</p> </div>		
展開 1	<p>4. アメリカ文化について誤りのある英文を見て, 正確な英文にするために大事であることをペアで考える。</p>	<p>○困っている生徒への支援や助言をさせる。(共)</p> <p>◇紹介の仕方 (大→小, 順番), 語順やスペルが大事であることを考えさせるために, 板書にポイントを示す。 (視)</p>	<p>紹介の仕方を理解している。 【言語や文化についての知識・理解】</p>
山場	<p>正確でわかりやすい英文になるためのポイントがわかった!</p>		

主体性・積極性: 時間設定の中で, たくさんのことに気付かせる。

<p>展開 2</p>	<p>5. 自分の英文を見直して加筆・修正をする。 6. グループで友達の英文を見て、付箋に気付きを書かせる。また、自分の英文に取り入れられる表現があれば記入する。⇒記入したことを伝え合う。</p> <p>対話力・自信:自分のことばで気付きを言わせる。</p> <p>7. 友達の意見を参考に、よりよい英文になるように加筆・修正をする。</p>	<p>○順序, 語順, 内容を考えさせる。(焦) ◇チェックリストを活用して正確でわかりやすい英文を考えさせる。(焦) ◇気付きを深めるために, 班活動を通して, 考えを交流し合う。(共) ◆どこに着目するかを視覚的に示して考えさせる。(視) ○困っている生徒への支援や助言をさせる。(共)</p>	<p>読み手が理解しやすくなるように書き直している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p>
<p>まとめ</p>	<p>8. 本時のまとめ よりよい英文にするためのポイントをまとめる。 S: 順序, 語順, スペル, 代名詞の使い方, 内容(難しさ)を考えるとよりよい英文になる。</p> <p>9. 本時の振り返り 振り返りカードに記入する。</p> <p>10. 家庭学習, 次時の確認 ・英文をわかりやすく書く。【宿題】 ・みんなの前で発表する。【次時】</p>		

(5) 板書計画

Friday, October eleventh

めあて

ポイント

日本文化についてより正確でわかりやすい英語で書くことができる。(順序, 語順, スペル, 代名詞の使い方, 内容)

本時の流れ

- ・ Review
- ・ Check the aim
- ・ Use a checklist and write a comment
- ・ Improve your own sentence
- ・ Summery
- ・ Reflection

自己紹介

p. 63 英文

まとめ: 正確な英文するには…

アメリカ文化の例文 (間違え)

振り返り: どこを改善してよかったか